いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No.74

令和６年５月１日発行

●発行／射水市議会　●編集／広報委員会
〒939-0294 富山県射水市新開発410番地１
TEL(0766)51-6610　FAX(0766)51-6645
E-mail gikai@city.imizu.lg.jp

▲アイタウン内に、インクルーシブ遊具を備えた「本開発公園」がオープンしました。

市議会のうごき

2月

6日　議会改革特別委員会
14日　議員懇談会、議会運営委員会
21日　議会運営委員会、全員協議会
27日　議会改革特別委員会専門部会

【定例会】
28日　議会運営委員会、本会議、予算特別委員会、全員協議会

3月

5日　本会議（代表質問）、議会運営委員会、広報委員会
6日　本会議（一般質問）
7日　本会議（一般質問）、予算特別委員会
8日　総務文教常任委員会
11日　民生病院常任委員会
12日　産業建設常任委員会
13日　議会改革特別委員会
15日　予算特別委員会
18日　予算特別委員会、議会運営委員会
19日　本会議、議会運営委員会

4月

17日　広報委員会
18日　総務文教常任委員会
19日　民生病院常任委員会
22日　議会運営委員会、産業建設常任委員会
24日　議会運営委員会、全員協議会

【臨時会】
26日　議会運営委員会、本会議、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会

3月定例会

皆さんの生活にかかわる大切な事柄について、市長その他の執行機関から報告や説明を求めました。内容をダイジェストで紹介します。

代表質問

【自民射水の会】
吉野　省三 議員

1 新年度予算について

2 道の駅周辺エリアのリニューアルについて

問①ⅰ▶ 新年度予算における重点事業の主な概要について伺う。

答①ⅰ▶ 令和６年度の予算編成においては、「子ども・子育て施策の強化」、「ＤＸ・ＧＸの推進」、「防災・減災対策」を喫緊の重要課題と捉え、予算の特別枠を設け、財源の重点配分に努めた。

問①ⅱ▶ 能登半島地震に関する予算について伺う。

答①ⅱ▶ これまで、国・県の補助金や災害復旧事業債等を活用し、補正予算も含め総額で約13億８千万円を予算計上した。熊本地震の際に創設された復興基金や、被災者生活再建支援法の支援とは別に、石川県内の６つの市町で自宅が半壊以上の被害を受けた高齢者がいる世帯などを対象に、最大300万円を支給する新たな交付金制度について、本市においても適用されるよう、県と協調し、国に働きかけていく。

問②ⅰ▶ 新湊農村環境改善センターを改修して、別館として運用する計画であるが、道の駅新湊との間に新湊博物館と道路があり、来訪者の動線をどのように考えているのか伺う。

答②ⅰ▶ 道路はエリア北側に付け替え、その場所に芝生広場を設けることにより、エリア内の歩行者動線の確保と新湊博物館入口の視認性を高め、エリア全体の回遊性向上につなげたいと考えている。

問②ⅱ▶ 事業コンセプトについて伺う。

答②ⅱ▶ 本市の魅力ある食材を活用した独自の商品開発など、提案のあったアイデアを最大限に生かし、道の駅を起点とした射水ブランドの発信と地域経済の活性化に取り組む。また、デジタルサイネージやパンフレットコーナーの設置に加え、射水ケーブルネットワークと連携した様々な観光動画等を放映するなど、市内観光の玄関口として、周辺観光地への誘導を図っていく。

その他の質問

- 能登半島地震に伴う本市の被害状況と復旧並びに復興計画の全体状況について
- 震災に関する個別的な被害状況と対応について
- 外国語教育の充実について
- 業務改革に対する市の取組について
- クルーズ船受入機能の拡充について
- こども家庭庁の発足に伴う本市の取組とその成果について
- 富富富の栽培面積拡大について
- 市民病院島多病院長の退職に当たっての思いについて

一般質問

1 能登半島地震を踏まえての避難所の運営について

2 フットボールセンターの利用状況と今後について

高畑　吉成 議員

問①ⅰ▶ 水の備蓄について伺う。

答①ⅰ▶ 災害時には、布目分庁舎に販売用として確保してあるペットボトルを活用するなどし、避難所に配送している。

問①ⅱ▶ ガラス破壊による避難所侵入について、見解を伺う。

答①ⅱ▶ 危険が切迫している場合においては、やむを得ない対応と考えるが、市で迅速な開錠方法を検討しているところである。

問①ⅲ▶ 管理運営体制について伺う。

答①ⅲ▶ 避難所の運営は、避難者、施設管理者及び市が協力して行うものとしており、今般の課題を踏まえ、今後、施設管理者、自主防災組織及び開設担当職員が情報を共有する機会を設けることとしている。

問②▶ 復旧工事前にフィールド内の安全確認ができた部分を一部開放できないか、見解を伺う。

答②▶ 利用者が安全・安心に利用できる環境を提供していく責務があることや、復旧工事が始まれば工事車両の頻繁な出入りなどもあり、安全性が十分に確保できないことなどから、一部開放は困難と考える。

その他の質問

- 能登半島地震後の災害対応について

代表質問

【いみず志政会】
金　賢志 議員

1 新年度予算編成について
2 主要体育館の公共施設個別施設計画について
3 観光振興について

問①▶ 新年度予算の特徴について伺う。

答①▶ 主な事業として、子育て支援・学校教育の充実では「こども家庭センター」を設置し、妊娠時から出産・子育てまでの伴走的な支援を実施する。また、教室に入りづらさを感じている児童・生徒の相談や学習支援を行う「校内教育支援センター事業」や、保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会を設置し、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める「コミュニティ・スクール事業」など、子どもの成長に寄り添い、支える体制の強化を図っていく。さらには、物価高騰への対応として、学校給食の食材料費の上昇分及び保育園・幼稚園の賄材料費の高騰分の支援を継続するほか、奨学資金の貸与限度額の引上げを行い、市民生活を支援していく。

問②▶ 主要体育館の公共施設個別施設計画について伺う。

答②▶ 主要体育館６館のうち、新湊総合体育館及び小杉総合体育センターの２館を体育館機能の集約先として、大規模改修を実施することとしている。一方で、小杉体育館、大門総合体育館、大島体育館及び下村体育館の４館については、体育館機能の集約や民間参入の可能性について調査・検討することとしている。

問③▶ ふるさと納税の返礼品メニューに体験型商品を加えることについて、見解を伺う。

答③▶ 県と連携し、新湊曳山まつりでの付加価値の高い有料観覧席の販売や曳山の曳き子体験の商品化に取り組みたいと考えている。提案のあった体験型商品を加えることは、全国から観光客を呼び込む新たな選択肢となり得るものと考えており、今後、先行都市の事例を調査・研究していく。

その他の質問

- 令和６年能登半島地震について
- 第３次総合計画について
- スポーツによる地域創生について
- 有機農業の取組について

一般質問

1 防災減災の対策について
2 若者の移住定住の方策について

西元　勇司 議員

問①▶ 沿岸部に住む高齢者等の移動弱者のため、ライフジャケットの購入補助制度を導入すべきと考えるが、見解を伺う。

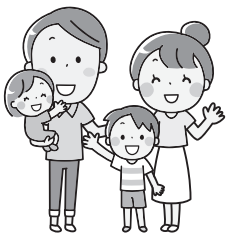
答①▶ ライフジャケットの購入費を補助している自治体があることは承知しており、今後、他自治体の例も参考に、補助制度の在り方について調査・研究していく。

問②ⅰ▶ 都市部の男女を本市に呼び込むため、内川ベイエリアでの宿泊を伴う婚活ツアーを開催してはどうかと考えるが、見解を伺う。

答②ⅰ▶ 宿泊婚活ツアーの開催については、関係各所と連携し、新たな出会いの場の創出、移住・定住につながる効果等について、ともに調査・研究していく。

問②ⅱ▶ 小杉駅、越中大門駅及びクロスベイ新湊周辺の空き店舗の活用を促すため、改装費を補助し、若者の居場所づくりを推進すべきと考えるが、見解を伺う。

答②ⅱ▶ 空き店舗の活用を促す新たな施策を検討し、若者の居場所づくりや地域のにぎわいづくりに努めていく。



代表質問

【自民議員会】
奈田　安弘 議員

1. 県立高校の再編について
2. 能登半島地震発生から２か月経過しての検証について
3. 市民病院における医師・看護師の確保について

問①▶ 県立高校の再編について所見を伺う。

答①▶ 県教育委員会から「学校規模が１学年４学級未満又は160人未満の学校については、再編統合の検討対象とすること」等の素案が示された。再編統合の検討に当たっては、県が示した学校規模を前提とする考え方を一律の基準とするのではなく、一定の通学時間内の高校の中から、多様な選択が可能となるよう、様々な学科構成や規模の学校をバランスよく配置すべきだと考えている。

問②▶ 能登半島地震発生から２か月経過しての検証について伺う。

答②▶ 避難所の開設・運営や避難行動についての検証が必要だと感じている。３月市報で「能登半島地震に関する緊急アンケート」を各世帯に配布し、寄せられた意見等を参考に、市民の防災力の向上に努めていく。また、液状化及び耐震化への対応・支援については、防災・減災に大きな効果が期待できることから、有効な対策について調査・研究していきたい。

問③▶ 市民病院における医師・看護師の確保について伺う。

答③▶ 医師については、大学病院への派遣依頼を継続しつつ、新たに病院独自での公募や、民間事業者を活用した確保に取り組む。また、看護師については、これまで病棟の勤務体制を日勤・準夜勤・深夜勤で分ける３交代制を採用してきたが、個人のライフスタイルに合わせた働きやすい職場環境づくりを行うため、希望する職員に対しては、２交代制の導入を検討して、確保に努めていく。

その他の質問

- ●新年度予算編成について
- ●人口減少対策について
- ●射水市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
- ●第９期介護保険事業計画について

一般質問

1. 学校休業中における災害時の児童・生徒の安否確認について

石田　勝志 議員

問①▶ 学校休業中における災害時の児童・生徒の安否確認について伺う。

答①▶ 令和６年能登半島地震に際し、教育委員会では１月４日、各小・中学校に対し、あんしんメール※等を活用し、始業式を行う予定にしていた１月９日の出欠の可否を含め、児童・生徒の安否確認を指示した。被害状況の違いから、全ての児童・生徒の家庭に電話連絡による安否確認をした学校や、保護者からの連絡を待つことを基本とした学校があるなど、対応にばらつきがあった。学校管理下外の災害時には、どの程度の規模の災害から安否確認が必要か、また、どのような方法で実施するかなどの基準を設けておらず、今回の震災を教訓に、学校防災マニュアル作成の手引きに基づき、安否確認のタイミングや確認方法等を検討し、各学校の防災マニュアルの見直しに取り組んでいるところである。

その他の質問

- ●防災意識向上に向けた施策について
- ●避難所について
- ●公園における災害対応型トイレの整備について

※の用語については、最終ページに解説があります。

一般質問

1 カモン食品館閉店について

根木　武良 議員

問①▶ 新湊地区の中心地域にあったカモン食品館が１月に閉店した。近くで買い物ができなくなった市民からは「１人でどこへ買い物に行けというのか。買い物に行き、ご近所の人と会話するのを楽しみにしていたのに」という声を聞いている。高齢者など買い物弱者のために、旧カモン新湊ショッピングセンター周辺に食料品店等を誘致できないか伺う。

答①▶ 長きにわたり新湊地区の市民生活を支えてきたカモン新湊ショッピングセンターの閉店は、地域経済に大きな影響を与えている。特に、周辺に住む高齢者の方が、日常の買い物に不便を感じていることも承知しており、まずは、近隣の食料品店への交通利便性を高めるため、コミュニティバスのバス停を店舗近くへ移動・新設するなどし、その周知に努めている。食料品店の誘致については、地域の切実な思いを関係事業者に伝え、何かしらの方法で進出してもらえないか、引き続き、働きかけていく。

その他の質問
- ●津波避難について
- ●避難所について
- ●被災者生活再建支援金について

一般質問

1 こども基本法に基づいて作成された「こども大綱」について

2 SNSを悪用した性的被害から子どもを守るためのAIペアレンタルコントロールアプリの活用について

不後　昇 議員

問①▶ こども大綱に規定されたこどもまんなか社会※の実現について伺う。

答①▶ 国の「こどもまんなか実行計画」を踏まえ、本市としては、令和６年度に「第3期射水市子ども・子育て支援事業計画」において市の「こども計画」を一体のものとして策定していく。

問②▶ 性的被害から子どもを守るためのＡＩペアレンタルコントロール※アプリの活用について伺う。

答②▶ グローバル化やＡＩ、ＩｏＴ等の技術革新などが急速に進展する中で、学校での指導だけでは万全ではなく、保護者とのより一層の連携が必要と認識している。子ども達への指導を継続するとともに、ペアレンタルコントロール（保護者による機能制限）の設定や、ＡＩアプリなど他自治体で実績のあるアプリを保護者等に紹介するなど、家庭における被害の防止・予防を働きかけていく。また、子ども達が使用している学習専用端末に係るセキュリティ強化方法についても、調査・研究していく。

その他の質問
- ●能登半島地震について

一般質問

1 能登半島地震を教訓に災害情報等の強化について

2 高齢者の運転免許自主返納について

杉浦　実 議員

問①ｉ▶ 防災力アップ等の見直しについて伺う。

答①ｉ▶ 津波からの避難は、徒歩で「遠く」よりも「高く」が原則であることなど、正しい災害リスクや避難行動について、出前講座やハザードマップを活用して周知するとともに、市総合防災訓練では、津波を想定した一層実効性のある訓練となるよう、工夫に努める。

問①ⅱ▶ 学校の防災機能の拡充について伺う。

答①ⅱ▶ 体育館空調設備については、導入・維持管理費用等で検討すべき課題が多く、国の補助制度の動向を注視していく。また、トイレの洋式化については、大規模改造工事に併せて、順次実施していく。

問①ⅲ▶ 災害時の外国人に対する情報発信の在り方について伺う。

答①ⅲ▶ 多文化共生キーパーソン※の方々と意見交換しながら課題を整理し、有効な情報発信について検討する。

問②▶ 自主返納者への支援について伺う。

答②▶ 市では、５年間有効のコミュニティバス等無料乗車証、２万円相当の万葉線回数券等のいずれか１つを交付し、返納後の移動を支援している。

その他の質問
- ●水道行政の移管について

一般質問

1 災害から市民の生命を守る取組について

2 空き家解体後の固定資産税の減免について

西尾　哲 議員

問①▶ 津波ライブカメラ映像の発信について伺う。

答①▶ リアルタイムの海面の状況を映すカメラ映像は、市のみならず、避難した住民の方なども入手したい情報であると考えられ、技術的な問題等の確認は必要だが、射水ケーブルネットワークにその画像情報を流してもらうことを検討したい。また、県に対し、市内沿岸部への監視カメラの新規設置についての要望を検討する。

問②▶ 空き家解体後の固定資産税の減免について伺う。

答②▶ 空き家を解体することで税負担が増えることが、空き家が増加する要因の一つであり、固定資産税を一定期間軽減する措置は、空き家の除却を後押しする手段となることは認識している。税負担の公平性の観点などの課題もあることから、先行自治体での実施効果等について、引き続き調査・研究していく。

その他の質問

- 移住定住政策について

一般質問

1 太閤山地区リノベーション計画について

山本　満夫 議員

問①▶ 太閤山地区リノベーション計画の進捗状況と今後の予定について伺う。

答①▶ 「太閤山地区リノベーション計画推進協議会」が設立され、計画の推進に向け、協議を重ねてきた。主な内容としては、太閤山地区内の第一種低層住居専用地域における建ぺい率及び容積率の緩和や、道路、公園の計画検討、空き家対策に係る新しい仕組みの検討、大型商業施設建替えに伴う地域の課題について、協議会としての意見の取りまとめを行ってきたところである。今後の予定としては、空き家対策の新しい組織づくりへの試みや、大型商業施設の建替え事業者との意見交換、未利用地の活用等について、推進協議会の中で連携を図りながら、協議を重ね、取り組んでいくこととしている。

その他の質問

- 射水市役所のコンプライアンスについて
- 能登半島地震を経験しての地区防災計画について
- 高齢者に対する買い物支援策について

一般質問

1 被災建築物応急危険度判定について

2 主権者教育と市政への参画について

3 投票率向上について

大垣　友和 議員

問①▶ 応急危険度判定※について伺う。

答①▶ 被害が最も大きかった対象エリア99件の判定を行った。判定結果が「危険」や「要注意」となって不安に感じた方に対しては、趣旨等を丁寧に説明するなど、不安の解消に努めた。

問②ⅰ▶ 学校での主権者教育について伺う。

答②ⅰ▶ 議場見学や模擬本会議などを体験する子ども議会体験プログラムを小学校６年生全員を対象に実施しているほか、中学校では生徒会役員選挙や生徒総会を実施し、生徒の自主性等を育む貴重な体験の場として位置付けている。

問②ⅱ▶ 若者が市政参画しやすい環境づくりについて伺う。

答②ⅱ▶ 学生アイデアコンテストや市内高等学校３校との連携事業等の取組を継続することで、学生・生徒が主体的にまちづくりに参画するための環境の充実に努めていく。

問③▶ 投票率向上について伺う。

答③▶ 当日投票所数を維持し、投票環境を整えることが投票率の向上につながると考える。マイナンバーカードを含めたデジタル技術を活用した円滑な投票ができる取組を検討していくとともに、投票に行きたくても行けない方が投票できるよう、不在者投票制度の周知に努める。期日前投票所の大規模商業施設等への設置については、課題も多く、先進自治体の取組を参考に、検討していく。

一般質問

1 小杉駅周辺整備について

寺岡　伸清 議員

問①▶ 小杉駅周辺整備について、これまでの取組と現状での課題認識、今後の取組に併せて、この事業に取り組む決意を伺う。

答①▶ 令和２年度に小杉駅周辺地区まちづくり基本構想を策定し、第３次総合計画において関連する個別計画に位置付け、取り組んできた。当該地区は、立地適正化計画において都市機能誘導区域や居住誘導区域と位置付けていることに加え、公共交通の結節点としての役割を担っており、さまざまな課題があると認識している。今後は、学生との取組を継続しながら、地元関係者、地元経済界等も含めた多様な方々と意見交換を行い、具体的なアイデアを創出することが重要と考える。市としては、目指すべき具体的なまちの姿やビジョンを明確にしながら、地域と協働で事業の具現化を強く推進していく。

その他の質問

- 県立高校再編に向けての市のスタンスについて
- ライドシェアについて

一般質問

1 小学校の統合について

2 市内保育園・幼稚園の今後について

加治　宏規 議員

問①▶ 放生津小学校の跡地活用について伺う。

答①▶ 現在、公的利活用と民間利活用の両面で幅広く検討しているところであり、引き続き、地域の声や思いをしっかりと受け止めながら、令和６年度内に利活用方針を策定した上で、令和９年度から利活用が開始できるよう、準備を進めていく。

問②ⅰ▶ 放生津保育園の整備協議の進捗状況について伺う。

答②ⅰ▶ 市の民営化方針に基づき、子育て支援課が市内で保育事業を展開している社会福祉法人に意向調査を実施したところ、参入を表明する法人はなかった。引き続き、利用保護者や地域住民との協議を重ね、市としての整備案を早期に決定したい。

問②ⅱ▶ 新湊中部保育園の今後について伺う。

答②ⅱ▶ 運営法人から施設・設備の老朽化や園児数の減少、保育士等の人員集約等を理由に、令和７年３月末で廃止にしたい旨の相談を受けた。在園児は、基本的に同じ地域にある新湊うみいろこども園で受入れ可能であると聞いている。

その他の質問

- 能登半島地震による市内被災地の重点的な支援と今後の考え方について
- 市指定文化財について

一般質問

1 能登半島地震の市の取組について

2 平和問題について

3 高齢者の買い物支援について

4 職員の対応について

5 奨学金制度の充実について

呉松　福一 議員

問①ⅰ▶ フットボールセンターの立地地域は軟弱地盤であり、施設の復旧をしても、同程度の地震が起きたときに再度被害が発生するおそれがある。十分に調査する必要があると考えるが、見解を伺う。

答①ⅰ▶ 液状化対策に当たっては、国・県との連携を図るとともに、必要な調査を行い、有効な対策を検討する。

問①ⅱ▶ 市民が地震や津波対応などを正しく理解し、防災知識と地域の連帯意識の向上が必要と考えるが、見解を伺う。

答①ⅱ▶ 自助や「自分たちの地域は自分たちで守る」共助の大切さについて周知を図り、市全体の防災力向上に努める。

問②ⅰ▶ ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとハマスとの対立など、一日も早い停戦と平和を願うが、見解を伺う。

答②ⅰ▶ 皆さんと同じように、一日も早く戦争が終結し、平和が戻ることを強く願っている。

問②ⅱ▶ 射水市平和都市宣言の言葉を入れた平和の礎（石碑）を建立できないか、見解を伺う。

答②ⅱ▶ 歌の森運動公園内に建立されている平和の礎を引き継いでいく。

問③▶ 新湊地区における高齢者の買い物支援について伺う。

答③▶ 市内全体の課題と捉えており、関係部局が連携し、市民の生活利便性の維持に努めていく。

問④ⅰ▶ 朝礼・終礼の実施による市の方針徹底について伺う。

答④ⅰ▶ 日々の取組の中で、全庁的な周知・徹底に努めていく。

問④ⅱ▶ 職員の議員対応について伺う。

答④ⅱ▶ できる限り丁寧な説明や報告に努めてきたと認識しているが、説明不足等があれば、確認の上、報告する。

問⑤▶ 奨学金制度の充実と周知について伺う。

答⑤▶ 令和６年度から奨学資金の貸与上限の増額を予定しており、相談体制の強化も含めて、柔軟な対応と周知に努めていく。

予算特別委員会

令和6年度 射水市一般会計予算（議案第1号）

歳入歳出の予算総額をそれぞれ410億9200万円とするもの

主な事業

- ○こども家庭センターの設置
- ○家事・育児サポート事業
- ○ママパパ保育士職場復帰応援事業
- ○「世界に1つだけの絵本」事業
- ○校内教育支援センター事業
- ○学校給食食材費高騰対策支援事業（小・中学校）
- ○給食食材費高騰対策支援事業（保育園等）
- ○令和6年能登半島地震対応検証事業
- ○木造住宅耐震改修等支援事業補助金
- ○AIオンデマンドバス「のるーと射水」本格運行事業
- ○家庭用太陽光パネル設置補助事業

当初予算に関する質問者及び質問項目

3月7日（説明）

日　程	質問者	主な質問項目
3月15日	山本　満夫 委員	①ＤＸ推進事業費について　②生活保護扶助費について　③射水市役所のコンプライアンスについて
	根木　武良 委員	①小・中学校体育館への冷暖房装置の設置について　②避難所災害備蓄品について
	不後　　昇 委員	①被災者に対する減免措置等について　②県の2024年度導入するハザードマップに対する本市の対応について　③物流・運送業界の2024年問題について　④県の新年度予算案に対する本市の対応について
	西尾　　哲 委員	①射水市定員適正化計画について　②明日の射水を担う若者定住助成金について　③第２次射水市スポーツ推進計画について　④学校部活動の地域クラブ活動への移行体制整備状況について
	堀　　義治 委員	①本市の公共交通について　②自治会について　③地域おこし協力隊の状況について
	加治　宏規 委員	①点字ブロック設置工事について　②新湊地区センターのリフォームについて　③クロスベイ新湊について　④新湊中央文化会館の活用について　⑤公民館新設等に伴う工事補助について
	寺岡　伸清 委員	①芸術・文化振興について
	金　　賢志 委員	①能登半島地震からの復旧について　②環境保全費について　③小・中学校管理費について　④文化振興費について　⑤体育施設費について
3月18日	石田　勝志 委員	①ママパパ保育士職場復帰応援事業について　②家事・育児サポート事業について　③認知症高齢者みまもり事業について　④ＤＸ推進事業費について　⑤震災後のアンケートについて　⑥海岸総務費について
	西元　勇司 委員	①保健衛生費について
	高畑　吉成 委員	①本開発公園屋内遊具場について　②学校給食食材費高騰対策補助金について　③食物アレルギー対応特別給食提供事業費補助金について　④校内教育支援センター支援員報酬について
	山崎　晋次 委員	①空き家対策支援事業補助金について　②放生津・新湊統合小学校整備費について　③太閤山地区における盛土箇所の地震の影響について　④道の駅新湊等整備事業について　⑤みるスポーツを通してのにぎわい創出について　⑥小杉駅周辺地区まちづくり補助金について　⑦射水市観光協会の体験型事業について　⑧地震被災時の津波避難ビルの利用実態について　⑨今後の部活動移行について
	高橋　久和 委員	①第３期総合戦略策定支援業務委託について　②人材の育成、支援、確保について　③建築物の安全性について　④建築指導費について　⑤上下水道事業における震災対応策の検討と今後の住民説明会の開催について
	津田　信人 委員	①並行在来線経営安定基金負担金について　②万葉線対策費について　③議案について
	大垣　友和 委員	①「世界に１つだけの絵本」事業について　②国登録有形文化財である小杉展示館及び竹内源造記念館について

予算特別委員会

令和5年度 射水市一般会計補正予算（第8号）（議案第8号）

歳入歳出にそれぞれ4億600万円を追加し、予算総額を431億6058万8千円とするもの

主な事業
- ○災害見舞金
- ○被災者生活再建支援金
- ○生活応援金
- ○被災家屋等解体事業
- ○道路災害復旧工事

令和5年度 射水市一般会計補正予算（第9号）（議案第9号）

歳入歳出にそれぞれ7億4200万円を追加し、予算総額を439億2588万8千円とするもの

主な事業
- ○新湊南部中学校空調設備改修工事
- ○高規格救急自動車整備事業

補正予算に関する質問者及び質問項目

3月7日（説明）

日　程	質問者	主な質問項目
3月15日	大垣　友和 委員	①災害復旧費について
	西元　勇司 委員	①保健衛生費について
	根木　武良 委員	①会計年度任用職員の実態について　②学校給食費の公会計化について
	山崎　晋次 委員	①ふるさと射水応援寄附金について　②ふるさと納税返礼品発送等業務委託について　③消雪施設更新工事について　④北陸自動車道法面災害復旧工事に伴う維持管理負担金について
	高橋　久和 委員	①総務費寄附金について　②土木災害復旧費について　③農林水産業災害復旧費について
	高畑　吉成 委員	①住宅用太陽光発電設備設置補助金について　②大島絵本館管理運営費（高圧ケーブル等更新工事）について
	加治　宏規 委員	①公園維持管理費について　②重点密集市街地整備事業について　③新湊中央文化会館管理運営費について　④小杉文化ホール管理運営費について　⑤債務負担行為の補正について
	中川　一夫 委員	①3月補正予算について　②市政全般について
	金　賢志 委員	①塵芥処理費について　②消防施設費について　③体育施設費について

議会改革特別委員会

議員の厚生年金への加入を求める意見書及び議員の請負規制緩和に係る対応について、これまで検討してきた内容を確認し、議長への報告書（※）として取りまとめました。

また、議員定数、議員報酬、政務活動費及び費用弁償について、経過や類似団体の状況等の共通認識を図り、議論するとともに、今後も引き続き、専門部会等で協議していくことを確認しました。

※報告書の主な内容（2月20日提出）

▼議員の厚生年金への加入を求める意見書について

現行の厚生年金制度では、議員が被保険者となることができないため、会社員等を辞めて議員になった場合、厚生年金加入を継続できなくなる。社会保障を促し、多様な人材が立候補しやすい環境の整備を図る観点から、意見書の提出に関して議会運営委員会で協議を進めることで、意見が一致した。

▼議員の請負規制緩和に係る対応について

これまで、議員個人による当該地方公共団体に対する請負が全面的に禁止されていたが、議員のなり手不足への対応の一環として、法改正により各会計年度において総額が300万円を超えない者を、議員個人による請負に関する規制の対象から除くこととされた。本市においても、法改正のとおり請負規制を緩和するとともに、議員個人による請負状況の透明性を確保するための取組について、議会運営委員会で協議することで、意見が一致した。

総務文教常任委員会

議案8件及び報告2件を可決（承認）すべきものとしました。
所管事務について10件の報告を受けました。

令和6年度地方税制改正（案）の要旨について

【個人住民税】
○定額減税の実施
※定額減税…賃金上昇が物価高に追いついていない国民の負担を緩和するため、一時的な措置として、所得税及び個人住民税を減税するもの
↓本人及び扶養親族1人につき、個人住民税1万円（所得税3万円）減税
【固定資産税】
○現行の土地の負担調整措置の延長
○現行の新築住宅に係る税額の減額措置の延長

問 **定額減税による個人住民税の減収については、地方特例交付金により全額国費で補填されるが、所得税の約3割は地方交付税の原資となるため、地方交付税の総額は当然少なくなるものと思っていた。普通交付税における国の「こども・子育て政策の強化」による影響もあるものと推察するが、所得税の減税にもかかわらず、地方交付税に係る予算が国も地方もなぜ増額となっているのか伺う。**

答 地方交付税の原資となる国税に所得税も含まれるが、国において、今回の定額減税の影響分に係る措置が講じられるため、所得税の減税による地方交付税の減額はないと考えている。

民生病院常任委員会

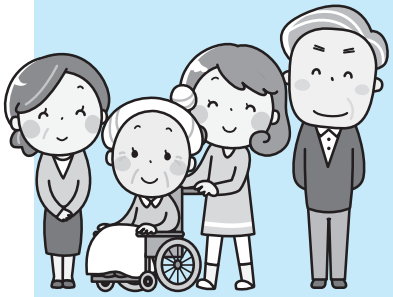
議案18件を可決すべきものとしました。
所管事務について11件の報告を受けました。

射水市介護保険条例の一部改正について（議案第23号）

介護保険法施行令の一部改正に伴い、第1号被保険者の介護保険料率を定めるための所得段階の区分を12段階から16段階とし、区分ごとに新たに介護保険料を定めるため、本市条例について所要の改正を行うもの。

問 **保険料基準額は、第8期より上がるが、きめ細やかな算定方法に変えたということか。**

答 国よりもさらにきめ細やかな所得段階を設定し、より所得に応じた負担とした。また、低所得者にも高所得者にも、今まで積み立ててきた基金を幅広く活用することにより、国の示す乗率を軽減し、保険料を設定した。



産業建設常任委員会

議案12件を可決すべきものとしました。
所管事務について7件の報告を受けました。

射水市道の駅新湊等整備運営事業に係る公募型プロポーザルの実施結果について

運営する民間事業者のアイデアとノウハウを、施設の設計・施工に最大限反映させ、より使いやすく経営的視点に立った施設整備を実現するため、設計・施工・管理運営等を行う民間事業者を一体的に公募した結果、㈱道の駅新湊を代表事業者とするグループを優先交渉権者に選定した。
選定委員会では、市が事業コンセプトとして掲げた「エリアの魅力向上」、「射水ブランド推進と地域経済への波及」、「市内観光の玄関口」の実現に向け、本エリアに更なる賑わいが期待できる優れた提案として評価された。

問 **経済効果はどのくらい見込んでいるのか。**

答 試算はしていないが、優先交渉権者からは、現在の来場者約70万人のところ100万人を超えていきたいとの意見があり、市内で最も賑わう場所を目指していく。

3月定例会

《会 期》2月28日～3月19日／21日間

議決結果一覧表

[議　案]

番 号	件　　名	結 果
第１号	令和６年度射水市一般会計予算	可決
第２号	令和６年度射水市国民健康保険事業特別会計予算	可決
第３号	令和６年度射水市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
第４号	令和６年度射水市介護保険事業特別会計予算	可決
第５号	令和６年度射水市水道事業会計予算	可決
第６号	令和６年度射水市下水道事業会計予算	可決
第７号	令和６年度射水市病院事業会計予算	可決
第８号	令和５年度射水市一般会計補正予算(第８号)	可決
第９号	令和５年度射水市一般会計補正予算(第９号)	可決
第10号	令和５年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第３号)	可決
第11号	令和５年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第２号)	可決
第12号	令和５年度射水市介護保険事業特別会計補正予算(第３号)	可決
第13号	令和５年度射水市水道事業会計補正予算(第３号)	可決
第14号	令和５年度射水市下水道事業会計補正予算(第３号)	可決
第15号	ふるさと射水応援寄附条例の一部改正について	可決
第16号	射水市職員定数条例の一部改正について	可決
第17号	射水市職員の育児休業等に関する条例及び射水市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決
第18号	射水市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決
第19号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	可決
第20号	射水市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
第21号	射水市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第22号	射水市地域包括支援センター運営協議会条例の一部改正について	可決
第23号	射水市介護保険条例の一部改正について	可決
第24号	射水市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第25号	射水市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第26号	射水市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第27号	射水市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決
第28号	射水市立保育園条例の一部改正について	可決
第29号	射水市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について	可決
第30号	射水市農村環境改善センター条例の一部改正について	可決
第31号	射水市都市公園条例の一部改正について	可決
第32号	射水市営住宅条例の一部改正について	可決
第33号	射水市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例の一部改正について	可決
第34号	射水市水道事業給水条例及び射水市上下水道事業経営委員会条例の一部改正について	可決
第35号	海竜スポーツランド条例の一部改正について	可決
第36号	射水市手数料条例の一部改正について	可決
第37号	射水市大門コミュニティセントー条例の廃止について	可決
第38号	市有財産の無償貸付について	可決
第39号	証明書等の交付等に係る事務の委託に関する規約の廃止に関する協議について	可決
第40号	指定管理者の指定について(コミュニティセンター６施設)	可決
第41号	指定管理者の指定の期間の変更について(新湊農村環境改善センター)	可決

[報　告]

番 号	件　　名	結 果
第１号	専決処分の承認を求めることについて	承認
第２号	専決処分の承認を求めることについて	承認
第３号	専決処分の報告について	―

[同　意]

番 号	件　　名	結 果
第１号	教育長の任命について	同意

[諮　問]

番 号	件　　名	結 果
第1～3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申

[議員提出議案]

番 号	件　　名	結 果
第１号	射水市議会委員会条例の一部改正について	可決
第２号	射水市議会会議規則の一部改正について	可決
第３号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	可決

[その他]

番 号	件　　名	結 果
	議会運営委員会、各常任委員会及び議会改革特別委員会の閉会中の継続審査	可決

《議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案について掲載》

番　号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	議決結果
議員名	石田勝志	大垣友和	西元勇司	西尾哲	金賢志	杉浦実	山本満夫	寺岡伸清	呉松福一	加治宏規	高畑吉成	根木武良	欠員	中川一夫	中村文隆	山崎晋次	不後昇	吉野省三	津田信人	堀義治	奈田安弘	高橋久和	
議案第１号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第２号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第３号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第４号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第５号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第６号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第９号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	―	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成　×…反対　※…議長は採決に加わりません。

POINT 市議会だより用語解説

代表質問・一般質問における用語を解説しています。

あんしんメール ▶P4

学校と家庭、地域が情報を共有し、連携・協力して児童生徒の健全育成を図るため、教育・安全に関する情報を各校から利用登録している保護者や地域の関係者へ電子メール（アプリのメール機能）を配信するもの。

こどもまんなか社会 ▶P5

令和５年12月に閣議決定された「こども大綱」が目指す、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態で生活を送ることができる社会のこと。

ペアレンタルコントロール ▶P5

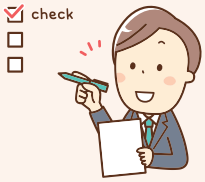
子どもの安全のために、保護者がインターネットの利用環境を整えること。有害なサイト等へのアクセスやアプリの利用制限や、利用時間の設定などがある。

多文化共生キーパーソン ▶P5

多文化共生社会の実現を目指し、地域と外国人住民の橋渡し役となる人。市で登録制度を設け、募集している。

応急危険度判定 ▶P6

余震等による建築物の倒壊、部材の落下等から生じる二次被害を防止するため、建築物の被害の状況を調査し、危険の程度の判定・表示等を行うこと。罹災証明のための被害調査とは異なる。



いみず市議会だよりの表紙写真を募集します！

射水市議会では、市民の皆さんに親しまれる市議会だよりづくりの一環として、表紙写真を募集します。

【募集テーマ】射水市の風景、行事・イベント、人物など
【応募規定】●応募者本人が射水市内において概ね１年以内に撮影したもの
●デジタルデータJPEG形式（概ね４MB以上10MB未満）の横長写真で提供できるもの
●未発表のもの、また、被写体が人物や個人の所有物の場合は承諾を得たもの
【応募資格】射水市に在住、在勤または在学の方
【応募期間】令和６年６月25日（火）まで（※必着）
【選考方法】市議会広報委員会で応募写真を審査します。
【掲　　載】市議会広報委員会で選出された写真を表紙に採用します。採用された写真には、応募者の氏名、写真のタイトル及び撮影場所を掲載します。（氏名の掲載を希望しないことも可）
なお、使用に当たっては、トリミングなどの画像処理をすることがあります。
【そ の 他】応募方法などの詳細については、市議会ホームページでご確認ください。

議会のケーブルテレビ放送のチャンネル変更▶

議会のケーブルテレビ放送チャンネルが、091chから121chに変更になりました。

●広報委員会［委員長］堀 義治　［副委員長］加治 宏規
［委　員］高畑 吉成、中村 文隆、山崎 晋次、吉野 省三、津田 信人、奈田 安弘、高橋 久和

６月定例会は、５月31日（金）から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課（TEL 51-6610）までお問い合わせください。

傍聴者数

３月定例会
本会議…22人
委員会…22人
合計44人

皆さんの傍聴をお待ちしています。ご希望の方は、議会開催日に本庁舎５階議会事務局までお越しください。